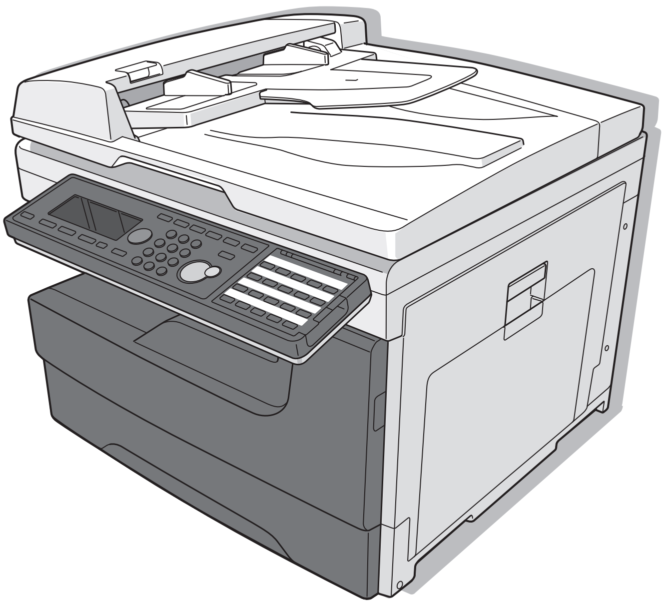
KONICA MINOLTA

Giving Shape to Ideas

bizhub 1830/1830f

ユーザーズガイド　コピー機能編



目次

本書の表示について

安全に関する表示

本書では、安全にお使いいただくために守っていただきたい事項や操作する上での重要情報に、以下のマークをつけています。

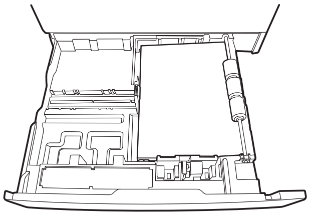
⚠警告	取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う可能性のある警告事項が書かれています。 安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。
⚠注意	取り扱いを誤った場合に、傷害を負う可能性または物的損害が発生する恐れがある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
！お願い	誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。
補 足	操作の参考情報や補足説明が書かれています。

操作キーとボタンの表記

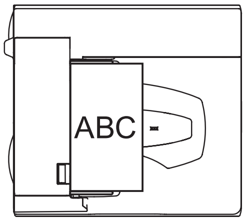
〈　　〉操作パネル上のキー
　　（例：スタートキー →〈スタート〉）
［　　］液晶ディスプレイ上のボタンやコンピューター画面上のボタンなど
　　（例：画質ボタン →［画質］）

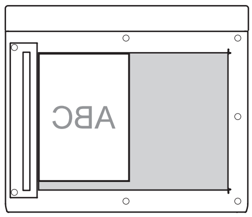
原稿・用紙向きの表記

記号 : 用紙を機械正面から見て縦にセットすることを表します。



記号 : 原稿を機械正面から見て縦にセットすることを表します。





画面やイラストについて

本書では、特に断りがない限り bizhub 1830f の画面やイラストを使用しています。オプションの装着によっては、画面やイラストが異なる場合があります。

コピーの前に

コピー禁止事項

本機で何をコピーしてもよいわけではありません。
特に法律によって、そのコピーをとるだけでも罰せられるものがありますので、次の点にご注意ください。

❏ 法律によりコピーを禁止されているもの

紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債、地方債証券
外国紙幣、証券類
未使用郵便切手、はがき類
政府発行の印紙、税法で規定されている証券類

＜関係法律＞

- 通貨及証券模造取締法
- 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙等模造取締法
- 紙幣類似証券取締法

❏ 著作権の対象となっているもの

書籍、絵画、写真、図面、地図、楽譜などの著作物は、個人的にまたは、家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内で使用する場合を除いてコピーは禁止されています。

❏ 注意を必要とするもの

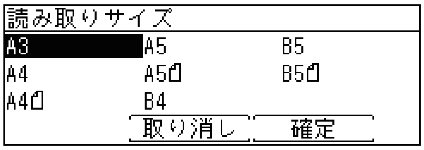
政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可証、身分証明書や通行証、食券などの切符類も勝手にコピーしないほうがよいと考えられます。
民間発行の有価証券（株券、小切手、手形等）、定期券、回数券などは事業所が業務に供するための最低必要部数をコピーする以外は、政府の指導によって注意が呼びかけられています。

原稿の自動検知について

自動で検知できる原稿サイズは、A4 や B5 などの定形サイズだけです。
不定形サイズの原稿をコピーする場合は、［用紙］を押してコピーする用紙を選択するか、〈応用機能〉→「読み取りサイズ」→［確定］を押して読み取りサイズを選択してからコピーします。

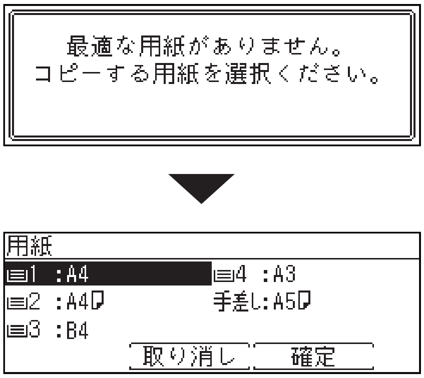
❑ 拡大／縮小設定が自動の場合に、原稿サイズを自動検知できなかったとき

読み取りサイズ選択画面が表示されます。読み取りサイズを選択し、［確定］を押します。



❑ 用紙選択が自動の場合に、原稿サイズに合った適切な用紙がないとき

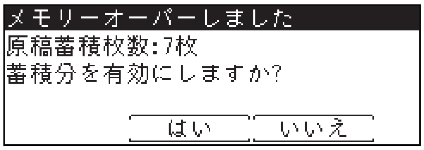
自動検知した原稿サイズに合った用紙がセットされていないときは、「最適な用紙がありません。コピーする用紙を選択ください。」と表示されます。
以下の画面でコピーする用紙を選択し、［確定］を押します。



倍率（［拡大／縮小］）を変更してコピーする場合は、［取り消し］を押してコピーを中止し、倍率とコピーする用紙を選択してからコピーしてください。(→ 2-9 ページ)

コピー中にメモリーオーバーしたとき

原稿蓄積中にメモリーオーバーしたときは、以下のメッセージが表示されます。



- ［はい］を押すと、蓄積された原稿をコピーします。
- ［いいえ］を押すと、コピーを中断します。設定を変更するか、メモリーが空くまで待ってからコピーしてください。
- 何も押さずに画面自動リセット時間（初期値：3 分）が経過すると、ジョブがキャンセルされます。画面自動リセット時間は変更できます。詳細は、『機器設定・管理編』第 1 章の「初期値を設定する」を参照してください。

第 1 章

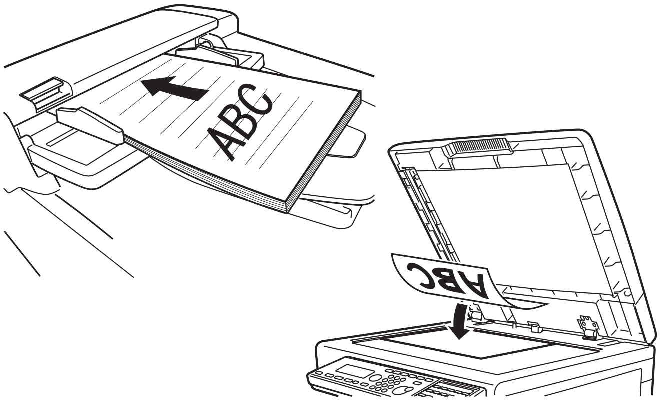
コピー基本操作

コピーの基本操作

基本的なコピー操作

ここでは、基本的なコピーのしかたを説明します。

1 **原稿をセットします。**



原稿セットのしかたは『すぐに使える操作ガイド』の「原稿をセットする」を参照してください。

2 **モード切り替えキーを押して、コピーモードにします。**

必要に応じて画質（→ 2-5 ページ）や濃度（→ 2-6 ページ）を設定します。



3 **テンキーでコピー部数を入力します。**

1 ～ 999 部まで設定できます。

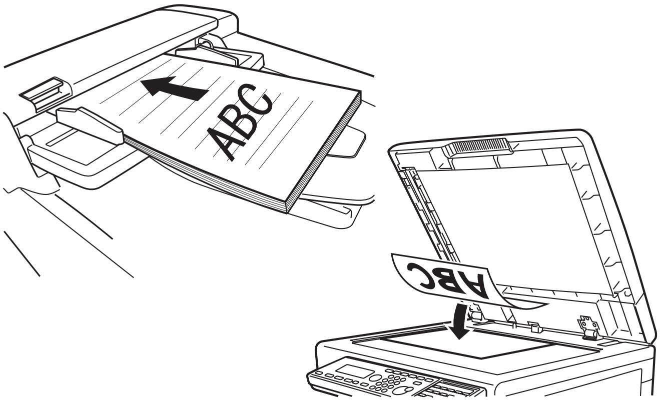
4 **〈スタート〉を押します。**

・コピーを中断したいときは、〈ストップ〉を押します。
・現在のジョブの印刷中に、「コピー予約できます」と表示されたら、次の原稿を読み取ることができます。

用紙を選んでコピーする（用紙）

コピーしたい用紙を選択してコピーできます。

1 **原稿をセットします。**

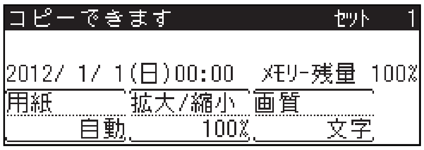


原稿セットのしかたは『すぐに使える操作ガイド』の「原稿をセットする」を参照してください。

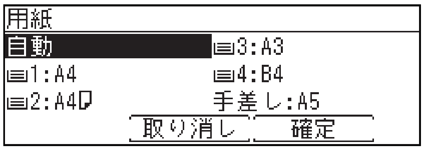
2 **モード切り替えキーを押して、コピーモードにします。**

必要に応じて画質（→ 2-5 ページ）や濃度（→ 2-6 ページ）を設定します。

3 **［用紙］を押します。**



4 **コピーする用紙を選択し、［確定］を押します。**



- 「自動」を選択すると、原稿サイズと設定された倍率から適切な用紙を自動的に選択します。
- 倍率が自動に設定されている場合、用紙を自動に設定すると、倍率は 100 %に変更されます。
- 手差しトレイを使ってコピーする場合は、「手差しトレイを使ってコピーする」（1-4 ページ）を参照してください。

5 **テンキーでコピー部数を入力します。**

1 ～ 999 部まで設定できます。

6 **〈スタート〉を押します。**

手差しトレイを使ってコピーする

用紙カセットにセットできない用紙を手差しトレイにセットしてコピーできます。

補足

手差しトレイに用紙をセットしたときは、用紙サイズや用紙の種類の設定が必要です。詳細は、『すぐに使える操作ガイド』の「用紙をセットする」の「手差しトレイにセットする」を参照してください。

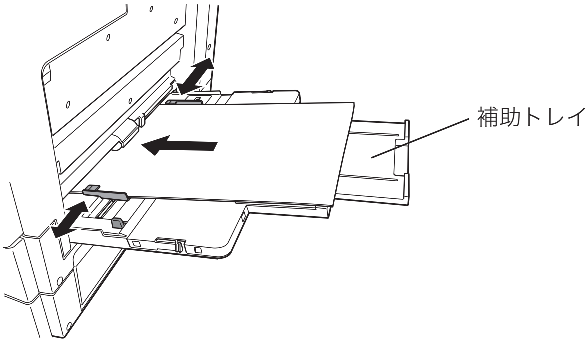
1 **原稿をセットします。**

原稿セットのしかたは『すぐに使える操作ガイド』の「原稿をセットする」を参照してください。

2 **モード切り替えキーを押して、コピーモードにします。**

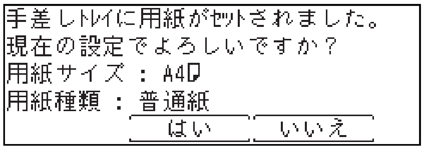
必要に応じて画質（→ 2-5 ページ）や濃度（→ 2-6 ページ）を設定します。

3 **手差しトレイを開き、用紙をセットします。**



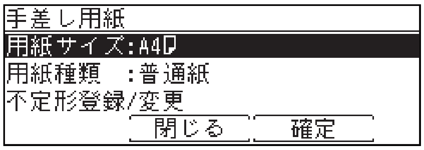
・コピーする面を下にして、セットします。
・大きなサイズの用紙をセットする場合は、補助トレイを引き出します。

4 **表示された設定でコピーする場合は［はい］を押し、設定を変更する場合は［いいえ］を押します。**



［はい］を押した場合は、手順 6 に進みます。

5 **［いいえ］を押した場合は、用紙のサイズと種類を設定します。**



変更したい項目を選択して［確定］を押すと、設定変更できます。

6 **テンキーでコピー部数を入力します。**

1 ～ 999 部まで設定できます。

7 **〈スタート〉を押します。**

複数の機能を組み合わせたコピー操作

複数の機能を組み合わせたコピー操作について説明します。

1 **原稿をセットします。**
原稿セットのしかたは『すぐに使える操作ガイド』の「原稿をセットする」を参照してください。

2 **モード切り替えキーを押して、コピーモードにします。**
必要に応じて画質（→ 2-5 ページ）や濃度（→ 2-6 ページ）を設定します。

3 **〈応用機能〉を押して、各機能を設定します。**
各機能については、第 2 章の「コピー機能」を参照してください。

4 **ほかの機能を設定するときは、手順 3 の操作を繰り返します。**

5 **テンキーでコピー部数を入力します。**
1 ～ 999 部まで設定できます。

6 **〈スタート〉を押します。**
・コピーを中断したいときは、〈ストップ〉を押します。
・現在のジョブの印刷中に「コピー予約できます」と表示されたら、次の原稿を読み取ることができます。

組み合わせができない機能について

各機能には、組み合わせて設定できないものがあります。組み合わせできない操作を行った場合の動作には、以下の 2 種類があります。

- あとから設定したものが優先される（先に設定したものは解除される）
- 先に設定したものが優先される（警告メッセージが表示される）

（空白ページ）

第 2 章

コピー機能

機能一覧

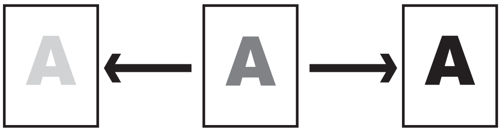
本製品では、次のようなコピー機能が利用できます。

画質（→ 2-5 ページ）
原稿に応じて、読み取り画質を設定します。

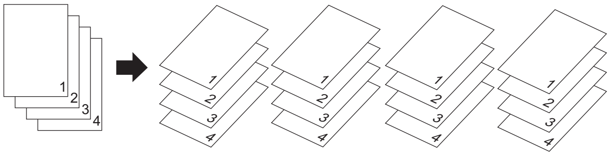


文字　文字／写真　写真　背景除去

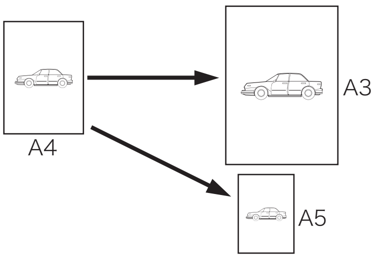
濃度（→ 2-6 ページ）
原稿に応じて、読み取り濃度を設定します。



仕分け（→ 2-7 ページ）
コピーをページ順にそろえられます。コピーしたあとに手作業でページをそろえる手間が省けます。

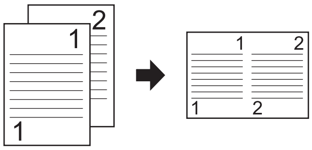


拡大／縮小（→ 2-9 ページ）
用紙サイズに合わせて自動的に拡大／縮小する方法（自動倍率）と、倍率を設定して拡大／縮小する方法（固定倍率）があります。固定倍率の設定方法には、あらかじめ設定されている倍率から指定する方法と、任意の倍率を設定する方法（ズーム）があります。



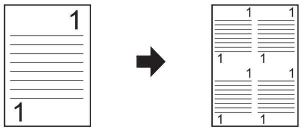
ページ集約 (→ 2-12 ページ)

2 枚、4 枚、8 枚の原稿を 1 枚の用紙にまとめてコピーできます。



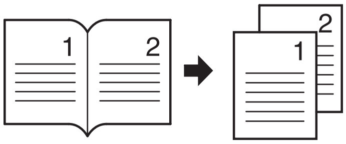
リピート (→ 2-14 ページ)

1 枚の用紙に原稿を繰り返しコピーします。
繰り返しの回数は、2 回、4 回、8 回より選択できます。



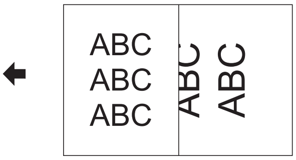
ページ分割 (→ 2-15 ページ)

本のように見開きページになっている原稿を、片面ずつ別々の用紙にコピーします。



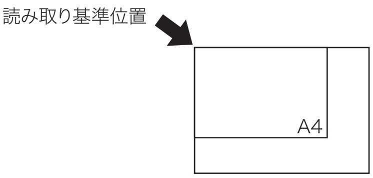
ミックス原稿 (→ 2-16 ページ)

幅が同じで長さが違う原稿(たとえば A3 と A4)を一緒に自動原稿送り装置にセットして、それぞれのサイズの用紙にコピーできます。

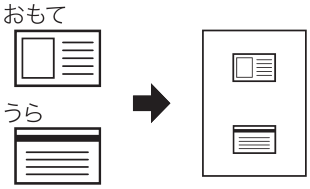


読み取りサイズ (→ 2-17 ページ)

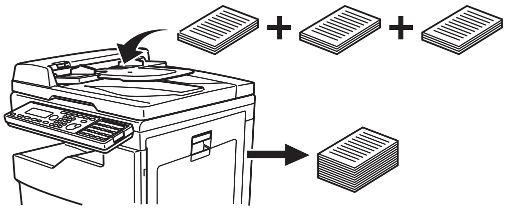
指定したサイズの範囲だけ原稿を読み取ります。



カードコピー（→ 2-18 ページ）
名刺、免許証などのカードまたは、不定形サイズの原稿の両面を 1 枚の用紙に並べてコピーできます。



連続読み込み（→ 2-20 ページ）
原稿が自動原稿送り装置にセットしきれない枚数のときや、原稿ガラスで複数ページを読み取りたいときなどは、「連続読み込み」設定を ON にして、原稿を数回に分けて読み取ります。自動原稿送り装置と原稿ガラスの両方を使って原稿を読み取ることもできます。



割り込み（→ 2-21 ページ）
コピー中に割り込んで別の原稿をコピーできます。

コピー機能

補足

設定をよく変更する場合は、初期値を変更しておくと、設定を変更する手間が省けます。
詳細は、「初期値を設定する」（3-2 ページ）を参照してください。

画質を設定する（画質）

原稿に応じて、読み取り画質を設定します。

文字：　　　文字だけの原稿に適した設定で読み取ります。
文字／写真：写真や絵と文字が混ざった原稿に適した設定で読み取ります。
写真：　　　写真や絵の原稿に適した設定で読み取ります。
背景除去：　原稿の地模様や地色などの背景を消して読み取ります。

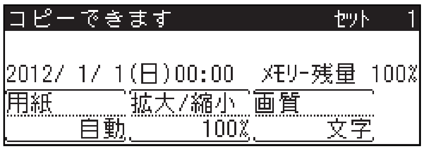
1　原稿をセットします。

原稿セットのしかたは『すぐに使える操作ガイド』の「原稿をセットする」を参照してください。

2　モード切り替えキーを押して、コピーモードにします。

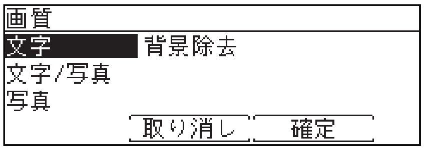
必要に応じて濃度を設定します。（→ 2-6 ページ）

3　［画質］を押します。



［画質］が表示されていないときは、〈応用機能〉を押して「画質」を選択し、［確定］を押してください。

4　画質を選択し、［確定］を押します。



5　テンキーでコピー部数を入力します。

1 ～ 999 部まで設定できます。

6　〈スタート〉を押します。

濃度を設定する（濃度）

原稿に応じて、読み取り濃度を設定します。

薄く：　　　　薄く読み取りたいときに選択します。
やや薄く＊1：普通よりもやや薄く読み取りたいときに選択します。
普通：　　　　標準の原稿を読み取りたいときに選択します。
やや濃く＊1：普通よりもやや濃く読み取りたいときに選択します。
濃く：　　　　濃く読み取りたいときに選択します。
＊1　液晶ディスプレイに文字表示はされません。

1 **原稿をセットします。**

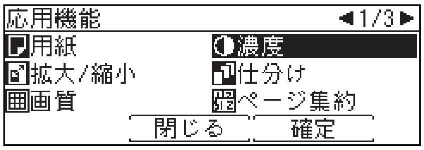
原稿セットのしかたは『すぐに使える操作ガイド』の「原稿をセットする」を参照してください。

2 **モード切り替えキーを押して、コピーモードにします。**

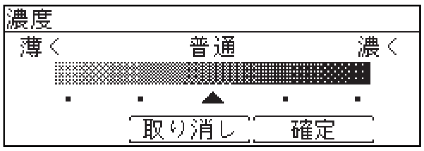
必要に応じて画質を設定します。(→ 2-5 ページ)

3 **〈応用機能〉を押します。**

4 **「濃度」を選択し、[確定］を押します。**



5 **希望の濃度を選択し、[確定］を押します。**



6 **テンキーでコピー部数を入力します。**

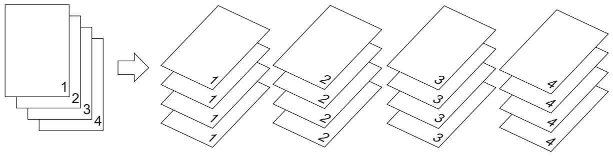
1 ～ 999 部まで設定できます。

7 **〈スタート〉を押します。**

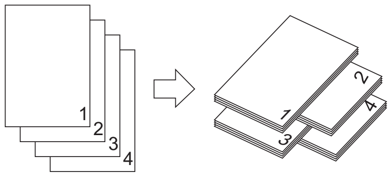
用紙を仕分けする（仕分け）

コピーをページ順にそろえられます。コピーしたあとに手作業でページをそろえる手間が省けます。
機器設定の回転仕分けを ON に設定すると、用紙の向きを変えて仕分けできます。

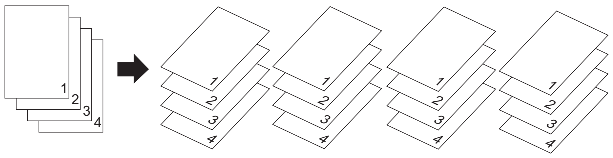
ノンソート
原稿のページごとに用紙を仕分けします。



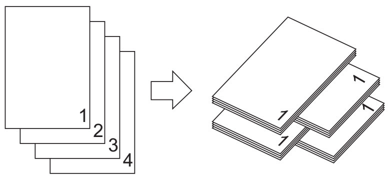
ノンソート + 回転仕分け ON
同じサイズの用紙をセットした場合、ページごとに向きを変えて仕分けします。



ソート
1 部ごとに用紙を仕分けします。



ソート + 回転仕分け ON
同じサイズの用紙をセットした場合、1 部ずつ交互に向きを変えて仕分けします。



補 足

回転仕分けを設定するには､〈メニュー／機器設定登録〉→［機器設定］→「用紙／仕分け」→［確定］→「回転仕分け」→［確定］→「コピー部ごと」→［確定］→「ON」→［確定］の順に押します。
詳細は、『機器設定・管理編』第 1 章の「用紙に関する設定をする」を参照してください。

2
コピー機能

1 原稿をセットします。

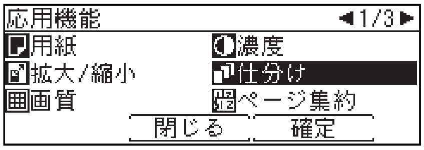
原稿セットのしかたは『すぐに使える操作ガイド』の「原稿をセットする」を参照してください。

2 モード切り替えキーを押して、コピーモードにします。

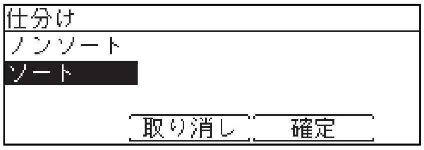
必要に応じて画質（→ 2-5 ページ）や濃度（→ 2-6 ページ）を設定します。

3 〈応用機能〉を押します。

4 「仕分け」を選択し、［確定］を押します。



5 「ソート」を選択し、［確定］を押します。



原稿のページごとに用紙を仕分けする場合は、「ノンソート」を選択します。

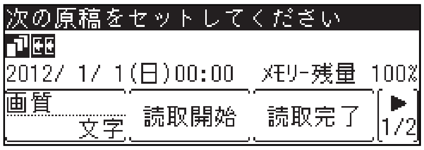
6 テンキーでコピー部数を入力します。

1 ～ 999 部まで設定できます。

7 〈スタート〉を押します。

・原稿を自動原稿送り装置にセットしたときは、この手順で終了です。
・原稿を原稿ガラスにセットしたときは、読み取りが終わったあとに手順 8 に進みます。

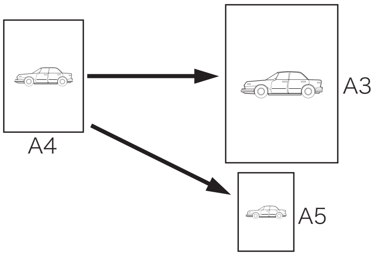
8 次の原稿をセットして、［読取開始］または〈スタート〉を押します。

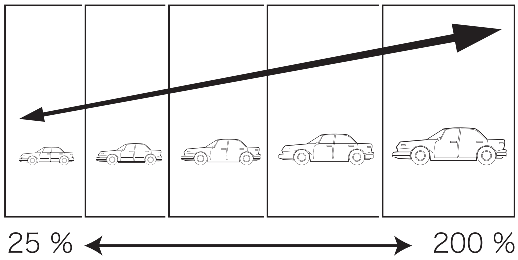


・すべての原稿の読み取りが終了するまで、手順 8 を繰り返します。
・すべての原稿の読み取りが終了した場合は、［読取完了］を押します。

拡大／縮小コピーする（拡大／縮小）

拡大／縮小コピーには、用紙サイズに合わせて自動的に拡大／縮小する方法（自動倍率）と、倍率を設定して拡大／縮小する方法（固定倍率）があります。固定倍率の設定方法には、あらかじめ設定されている倍率から指定する方法と、任意の倍率を設定する方法（ズーム）があります。





❑ 用紙サイズに合わせて拡大／縮小する（自動倍率）

指定した用紙サイズに合わせて自動的に倍率を選択し、拡大／縮小コピーを行います。
原稿サイズを自動検出できないときは、手動選択した原稿サイズで自動倍率にてコピーします。

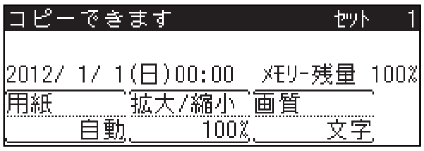
1 **原稿をセットします。**

原稿セットのしかたは『すぐに使える操作ガイド』の「原稿をセットする」を参照してください。

2 **モード切り替えキーを押して、コピーモードにします。**

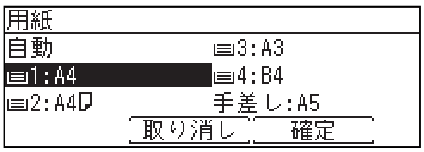
必要に応じて画質 （→ 2-5 ページ）や濃度 （→ 2-6 ページ）を設定します。

3 **［用紙］を押します。**

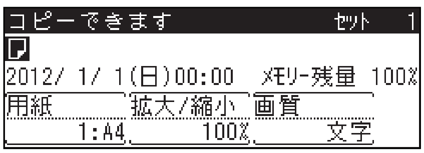


［用紙］が表示されていないときは、〈応用機能〉を押して「用紙」を選択し、［確定］を押してください。

4 **用紙を選択し、［確定］を押します。**

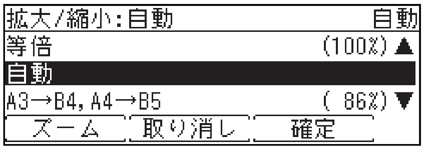


5 **［拡大／縮小］を押します。**



［拡大／縮小］が表示されていないときは、〈応用機能〉を押して「拡大／縮小」を選択し、［確定］を押してください。

6 「自動」を選択し、[確定] を押します。



用紙が「自動」になっている場合に、拡大/縮小で「自動」を選択すると、用紙の自動選択が解除されます。

7 テンキーでコピー部数を入力します。

1 〜 999 部まで設定できます。

8 〈スタート〉を押します。

❑ 倍率を指定して拡大/縮小する（固定倍率）

倍率を選択して、適切な用紙にコピーを行います。

補 足

- 選択した倍率によっては画像が欠けたり余白が出たりします。
- 用紙は、倍率設定に応じて自動的に選択されます。用紙を選択したいときは、用紙がセットされている用紙カセットを選択してください。

1 原稿をセットします。

原稿セットのしかたは『すぐに使える操作ガイド』の「原稿をセットする」を参照してください。

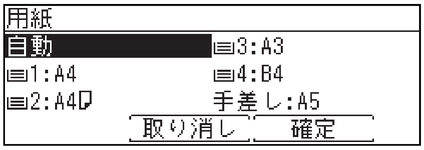
2 モード切り替えキーを押して、コピーモードにします。

必要に応じて画質（→ 2-5 ページ）や濃度（→ 2-6 ページ）を設定します。

3 [用紙] を押します。

[用紙] が表示されていないときは、〈応用機能〉を押して「用紙」を選択し、[確定] を押してください。

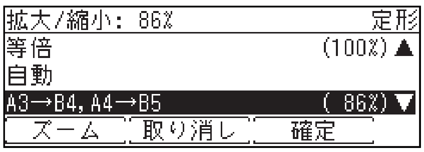
4 「自動」を選択し、[確定] を押します。



5 [拡大/縮小] を押します。

[拡大/縮小] が表示されていないときは、〈応用機能〉を押して「拡大/縮小」を選択し、[確定] を押してください。

6 倍率を選択し、[確定] を押します。



7 テンキーでコピー部数を入力します。

1 ～ 999 部まで設定できます。

8 〈スタート〉を押します。

適切なサイズの用紙がないときは、「最適な用紙がありません。コピーする用紙を選択ください。」と表示されます。使用する用紙を選択して［確定］を押してください。

❑ ズームコピーする

倍率を 25 % ～ 200 % の範囲で、1 % きざみで指定できます。

1 原稿をセットします。

原稿セットのしかたは『すぐに使える操作ガイド』の「原稿をセットする」を参照してください。

2 モード切り替えキーを押して、コピーモードにします。

必要に応じて画質（→ 2-5 ページ）や濃度（→ 2-6 ページ）を設定します。

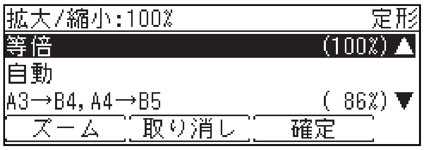
3 ［用紙］を押し、コピーする用紙を選択します。

［用紙］が表示されていないときは、〈応用機能〉を押して「用紙」を選択し、［確定］を押してください。

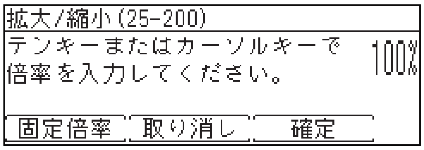
4 ［拡大／縮小］を押します。

［拡大／縮小］が表示されていないときは、〈応用機能〉を押して「拡大／縮小」を選択し、［確定］を押してください。

5 ［ズーム］を押します。



6 倍率を設定し、［確定］を押します。



・［固定倍率］を押すと、固定倍率の選択画面に戻ります。
・先に固定倍率を選択してから、倍率を調整することもできます。

7 テンキーでコピー部数を入力します。

1 ～ 999 部まで設定できます。

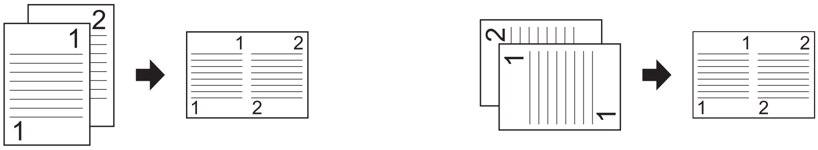
8 〈スタート〉を押します。

適切なサイズの用紙がないときは、「最適な用紙がありません。コピーする用紙を選択ください。」と表示されますので、使用する用紙を選択して［確定］を押してください。

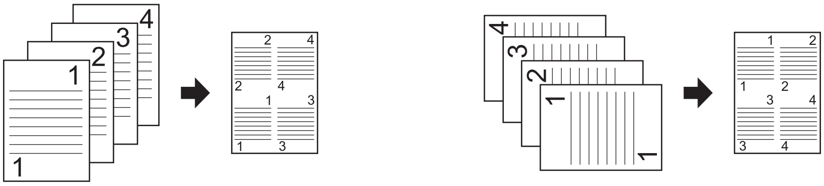
複数枚の原稿を 1 枚の用紙にコピーする（ページ集約）

複数枚の原稿を 1 枚の用紙に並べてコピーできます。
2 枚、4 枚、8 枚のいずれかの原稿を 1 枚の用紙にコピーできます。

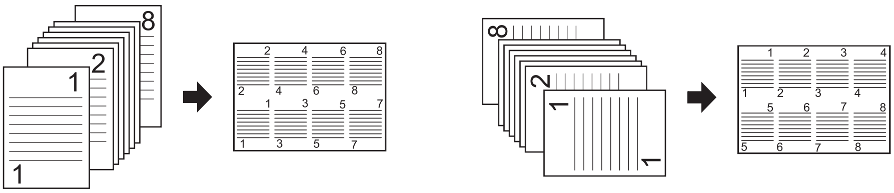
原稿 2 枚を 1 枚に



原稿 4 枚を 1 枚に



原稿 8 枚を 1 枚に



補 足

- ページ集約を設定すると、自動的に自動倍率が設定されます。倍率を設定したいときは、ページ集約設定後に倍率を設定してください。
- 用紙と原稿によっては、コピーされた画像が欠けることがあります。
- 原稿枚数が設定した集約枚数より少ないとき、足りない分は白紙がコピーされます。
- 用紙を自動選択にしている場合は、用紙の自動選択が解除されます。用紙を設定したいときは、ページ集約設定後に用紙を選択してください。
- 4 枚または 8 枚を集約する場合は、原稿のセット方向によって並び順が異なります（上図参照）。ただし、コピー倍率が自動以外のときや用紙の向きによっては、並び順が上図のようにならない場合があります（上図はコピー倍率が自動のときの例です）。

1 原稿をセットします。

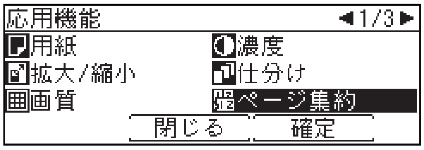
原稿セットのしかたは『すぐに使える操作ガイド』の「原稿をセットする」を参照してください。

2 モード切り替えキーを押して、コピーモードにします。

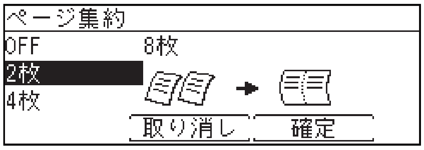
必要に応じて画質（→ 2-5 ページ）や濃度（→ 2-6 ページ）を設定します。

3 〈応用機能〉を押します。

4 「ページ集約」を選択し、［確定］を押します。



5 1 枚の用紙に集約する原稿の枚数を選択し、［確定］を押します。



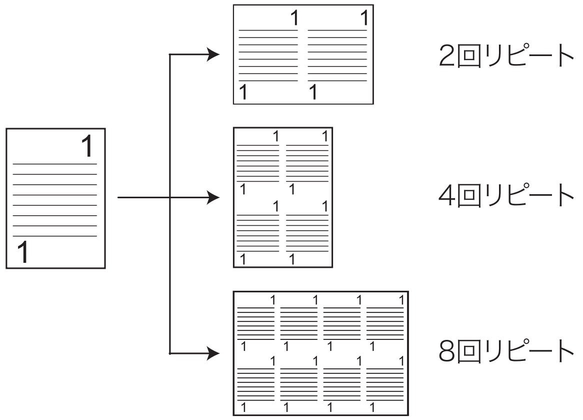
「OFF」を選択すると、ページ集約の設定が OFF になります。

6 〈スタート〉を押します。

原稿を原稿ガラスにセットしたときは、読み取りが終わったあとに次の原稿をセットして［読取開始］または〈スタート〉を押します。すべての原稿の読み取りが終了した場合は、［読取完了］を押します。

1 枚の用紙に繰り返しコピーする（リピート）

1 枚の用紙に原稿を繰り返しコピーします。
繰り返しの回数は、2 回、4 回、8 回より選択できます。



補 足

- リピートコピーを設定すると、自動的に自動倍率が設定されます。倍率を設定したいときは、リピートコピー設定後に倍率を設定してください。
- 用紙を自動選択にしている場合は、用紙の自動選択が解除されます。用紙を設定したいときは、リピートコピー設定後に用紙を選択してください。
- 用紙と原稿によっては、コピーされた画像が欠けることがあります。

1 **原稿をセットします。**

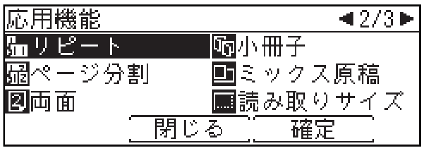
原稿セットのしかたは『すぐに使える操作ガイド』の「原稿をセットする」を参照してください。

2 **モード切り替えキーを押して、コピーモードにします。**

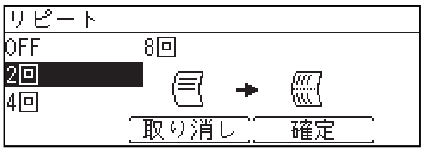
必要に応じて画質（→ 2-5 ページ）や濃度（→ 2-6 ページ）を設定します。

3 **〈応用機能〉を押します。**

4 **「リピート」を選択し、［確定］を押します。**



5 **リピートする回数を選択し、［確定］を押します。**



「OFF」を選択すると、リピートの設定が OFF になります。

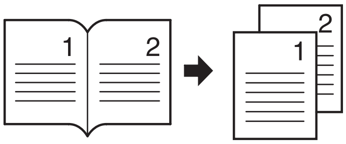
6 **必要に応じて［用紙］を押し、コピーする用紙を選択します。**

・自動以外を選択してください。
・用紙の向きにより、原稿のセット方法が変わります。

7 **〈スタート〉を押します。**

見開きページを 1 枚ずつコピーする（ページ分割）

本のように見開きページになっている原稿を、片面ずつ別々の用紙にコピーします。



補 足

- 用紙と原稿によっては、コピーされた画像が欠けることがあります。
- 自動原稿送り装置は使用できません。原稿ガラスからのみコピーできます。

1 **原稿を原稿ガラスにセットします。**

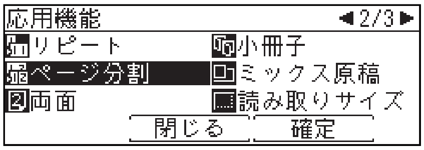
原稿セットのしかたは『すぐに使える操作ガイド』の「原稿をセットする」を参照してください。

2 **モード切り替えキーを押して、コピーモードにします。**

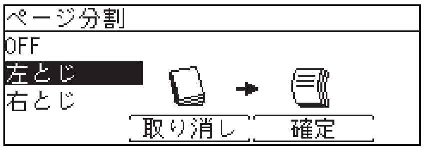
必要に応じて画質（→ 2-5 ページ）や濃度（→ 2-6 ページ）を設定します。

3 **〈応用機能〉を押します。**

4 **「ページ分割」を選択し、［確定］を押します。**



5 **原稿に応じて「左とじ」または「右とじ」を選択し、［確定］を押します。**



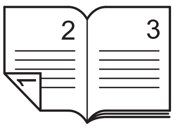
「OFF」を選択すると、ページ分割の設定が OFF になります。

6 **〈スタート〉を押します。**

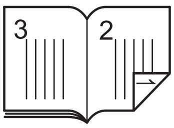
補 足

原稿の「左とじ」、「右とじ」は下のイラストを参考に選択してください。

左とじ



右とじ

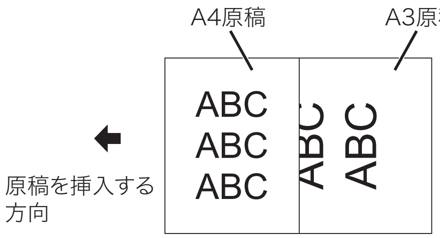


大きさの違う原稿を一緒にコピーする（ミックス原稿）

幅が同じで長さが違う原稿（たとえば A3 と A4）を一緒に自動原稿送り装置にセットして、それぞれのサイズの用紙にコピーできます。
ミックスコピーが有効な原稿サイズの組み合わせは、A3 と A4、A4 と A5、または B4 と B5 です。

補 足

- 原稿は、自動原稿送り装置にセットしてください。
- 以下のイメージのように、原稿の幅と先端をそろえてセットしてください。

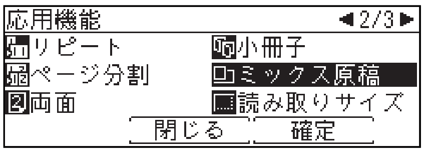


1 **原稿を自動原稿送り装置にセットします。**
原稿セットのしかたは『すぐに使える操作ガイド』の「原稿をセットする」を参照してください。

2 **モード切り替えキーを押して、コピーモードにします。**
必要に応じて画質（→ 2-5 ページ）や濃度（→ 2-6 ページ）を設定します。

3 **〈応用機能〉を押します。**

4 **「ミックス原稿」を選択し、[確定] を押します。**



5 **「ON」を選択し、[確定] を押します。**
「OFF」を選択すると、ミックス原稿の設定が OFF になります。

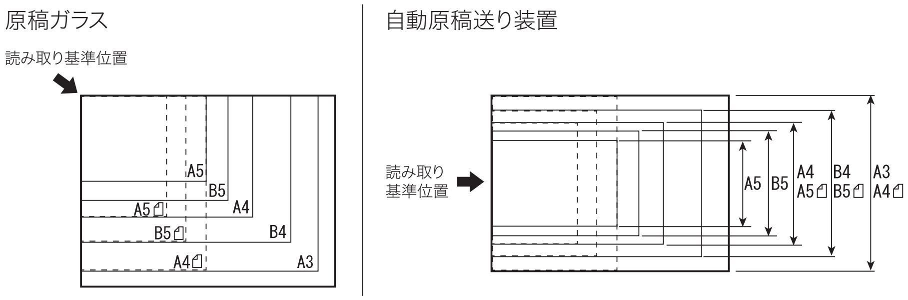
6 **〈スタート〉を押します。**

原稿の読み取りサイズを指定する（読み取りサイズ）

指定したサイズの範囲だけ原稿を読み取ります。
原稿ガラスに原稿をセットした場合は、セット基準位置から設定したサイズ分だけ読み取ります。
自動原稿送り装置に原稿をセットした場合は、原稿の中心を基準に設定したサイズの幅で原稿の長さの分を読み取ります。

補足

読み取りサイズを指定すると、指定したサイズ以外の部分は読み取りませんので、原稿押さえカバーを開けたままコピーしたときや、本などをコピーしたときにできる外側の黒い影を消してコピーできます。



1 **原稿をセットします。**

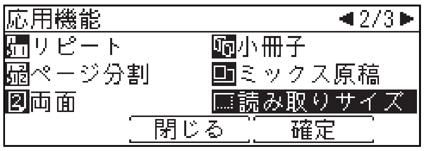
原稿セットのしかたは『すぐに使える操作ガイド』の「原稿をセットする」を参照してください。

2 **モード切り替えキーを押して、コピーモードにします。**

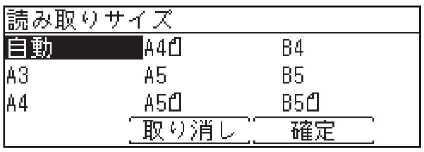
必要に応じて画質（→ 2-5 ページ）や濃度（→ 2-6 ページ）を設定します。

3 **〈応用機能〉を押します。**

4 **「読み取りサイズ」を選択し、[確定] を押します。**



5 **コピーする原稿のサイズを選択し、[確定] を押します。**

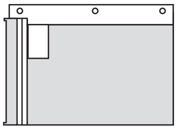
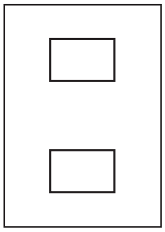
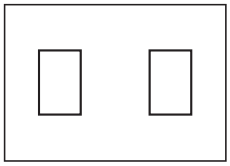
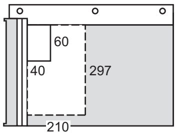
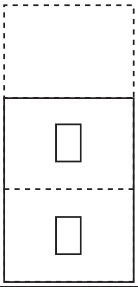
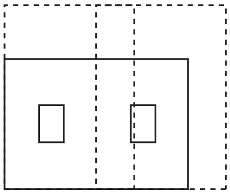


「自動」を設定すると、原稿サイズを自動で検出します。

6 **〈スタート〉を押します。**

カードの両面を 1 枚の用紙にコピーする（カードコピー）

名刺、免許証などのカードまたは、不定形サイズのカードの両面を 1 枚の用紙に並べてコピーできます。

	セット方向	コピー結果 （A4 用紙、コピー倍率 100 % の場合）	
		用紙	用紙
名刺 縦 91 × 横 55（mm）			
免許証 縦 86 × 横 54（mm）			
不定形サイズ 縦：60 ～ 297（mm） 横：40 ～ 210（mm）			

補 足

- 自動原稿送り装置は使用できません。原稿ガラスからのみコピーできます。
- 用紙を自動選択にしている場合は、用紙の自動選択が解除されます。用紙を選択したいときは、カードコピーを設定したあとに、希望の用紙がセットされている用紙カセットを選択してください。
- 設定や用紙の条件によっては、コピーされた画像が欠けることがあります。

❑ カード（名刺・免許証）をコピーする

1 **カードを原稿ガラスにセットします。**

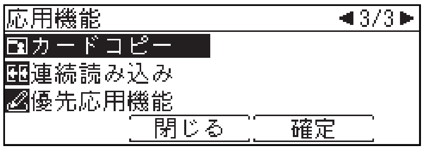
原稿ガラスの左奥を基準にセットしてください。原稿押さえカバーは開いたままでコピーできます。詳しくは『すぐに使える操作ガイド』の「原稿をセットする」を参照してください。

2 **モード切り替えキーを押して、コピーモードにします。**

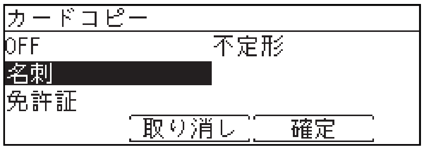
必要に応じて画質（→ 2-5 ページ）や濃度（→ 2-6 ページ）を設定します。

3 **〈応用機能〉を押します。**

4 **「カードコピー」を選択し、［確定］を押します。**



5 「名刺」または「免許証」を選択し、[確定] を押します。



「OFF」を選択すると、カードコピーの設定が OFF になります。

6 [確定] を押します。

必要に応じて、用紙を選択します。

7 〈スタート〉を押します。

カードのおもて面が読み取られます。

8 カードをうら返し、[読取開始] または〈スタート〉を押します。

・カードのうら面が読み取られます。
・読み取りが終わったあとに次の原稿をセットして[読取開始]または〈スタート〉を押します。
　すべての原稿の読み取りが終了した場合は、[読取完了] を押します。

❑ 不定形サイズのカードをコピーする

1 カードを原稿ガラスにセットします。

原稿ガラスの左奥を基準にセットしてください。原稿押さえカバーは開いたままでコピーできます。詳しくは『すぐに使える操作ガイド』の「原稿をセットする」を参照してください。

2 モード切り替えキーを押して、コピーモードにします。

必要に応じて画質 (→ 2-5 ページ) や濃度 (→ 2-6 ページ) を設定します。

3 〈応用機能〉を押します。

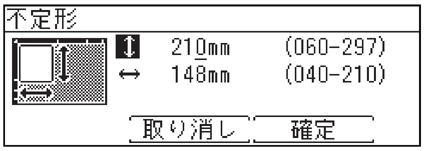
4 「カードコピー」を選択し、[確定] を押します。

5 「不定形」を選択し、[確定] を押します。

「OFF」を選択すると、カードコピーの設定が OFF になります。

6 テンキーでカードのサイズを設定し、[確定] を押します。

必要に応じて、用紙を選択します。



カーソルキーの上下を押すと、縦サイズまたは横サイズの入力切り替えができます。

7 〈スタート〉を押します。

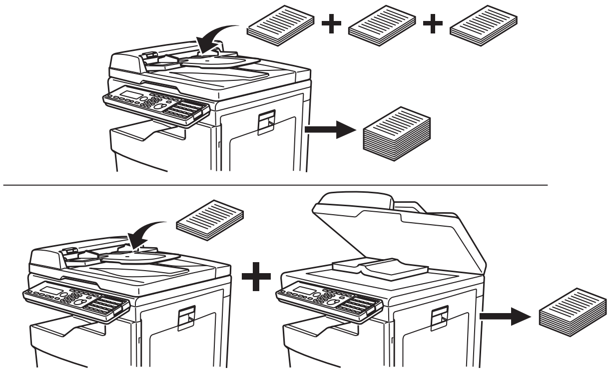
カードのおもて面が読み取られます。

8 カードをうら返し、[読取開始] または〈スタート〉を押します。

・カードのうら面が読み取られます。
・読み取りが終わったあとに次の原稿をセットして[読取開始]または〈スタート〉を押します。
　すべての原稿の読み取りが終了した場合は、[読取完了] を押します。

別の原稿を続けて読み取る（連続読み込み）

原稿が自動原稿送り装置にセットしきれない枚数のときや、原稿ガラスで複数ページを読み取りたいときなどは、「連続読み込み」設定を ON にして、原稿を数回に分けて読み取ります。自動原稿送り装置と原稿ガラスの両方を使って原稿を読み取ることもできます。



補 足

以下のコピーを設定すると、初期値の設定にかかわらず、原稿ガラスの連続読み込み設定が ON になります。

- 仕分け（ソート時）（→ 2-7 ページ）
- カードコピー（→ 2-18 ページ）
- ページ集約（→ 2-12 ページ）

1 **原稿をセットします。**

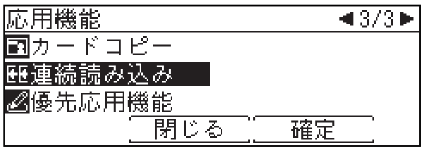
原稿セットのしかたは『すぐに使える操作ガイド』の「原稿をセットする」を参照してください。

2 **モード切り替えキーを押して、コピーモードにします。**

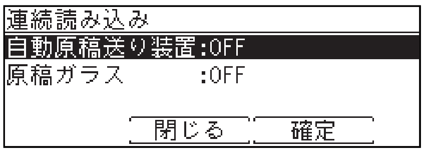
必要に応じて画質（→ 2-5 ページ）や濃度（→ 2-6 ページ）を設定します。

3 **〈応用機能〉を押します。**

4 **「連続読み込み」を選択し、［確定］を押します。**



5 **設定したい読み取り装置を選択し、［確定］を押します。**



6 **「ON」を選択し、［確定］を押します。**

・「OFF」を選択すると、連続読み込みの設定が OFF になります。
・設定は自動原稿送り装置と原稿ガラスで個別にできます。

7 〈スタート〉を押します。

セットした原稿の読み取りが終わると、「次の原稿をセットしてください」と表示されます。

8 続けて読み取る原稿をセットします。

9 [読取開始]または〈スタート〉を押します。

セットした原稿の読み取りが終わると、「次の原稿をセットしてください」と表示されます。

10 続けて読み取りたい原稿がある場合は、手順８～９を繰り返します。

11 すべての原稿の読み取りが終わった場合は、[読取完了]を押します。

割り込んでコピーする

コピー中に割り込んで別の原稿をコピーできます。
割り込みコピー中は「コピー予約できます」と表示されます。

補 足

以下の場合には割り込みコピーができません。

- 原稿読み取り中
- 応用機能や機器設定の操作中
- 電話中

1 コピー中に〈割り込み〉を押します。

2 割り込んでコピーする原稿をセットします。

・原稿セットのしかたは『すぐに使える操作ガイド』の「原稿をセットする」を参照してください。
・必要に応じて画質（→ 2-5 ページ）や濃度（→ 2-6 ページ）を設定します。

3 〈スタート〉を押して、割り込みコピーを行います。

4 割り込みコピー終了後、〈割り込み〉を押します。

割り込む前の画面に戻ります。コピープリント中に割り込んだ場合は、中断したコピープリントが自動的に再開されます。

補 足

画面自動リセット時間で設定した時間が経過すると、割り込みは自動的に解除されます。画面自動リセット時間の詳細については『機器設定・管理編』第 1 章の「初期値を設定する」を参照してください。

（空白ページ）

第 3 章

機器設定

初期値を設定する

初期値とは、〈リセット〉を押したときに設定される値のことです。何も操作せずに一定時間放置したときも、初期値に戻ります。よく使う設定を初期値にしておくと、操作のたびに設定する手間が省けます。

補 足

初期値に戻るまでの時間（画面自動リセット時間）を設定できます。詳細は、『機器設定・管理編』第 1 章の「初期値を設定する」を参照してください。

コピー機能の初期値を設定する

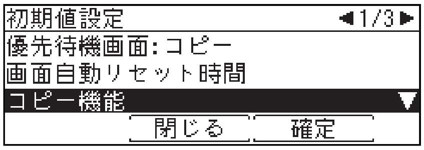
1 〈メニュー／機器設定登録〉を押します。

2 ［機器設定］を押します。

3 「初期値設定」を選択し、［確定］を押します。



4 「コピー機能」を選択し、［確定］を押します。



5 「コピー初期値」を選択し、［確定］を押します。



6 設定したい項目を選択し、［確定］を押します。

設定できる項目や設定値については、「初期値設定一覧」（3-3 ページ）を参照してください。

7 初期値を選択し、［確定］を押します。

続けて操作する場合は、手順 6 から操作を繰り返します。

初期値設定一覧

機能	機能説明	設定値	参照ページ
画質	読み取り時の画質の初期値を設定します。	文字 文字／写真 写真 背景除去	2-5
濃度	読み取り時の濃度の初期値を設定します。	薄く やや薄く 普通 やや濃く 濃く	2-6
拡大／縮小	コピー倍率の初期値を設定します。	自動 100%等倍	2-9
ミックス原稿	ミックス原稿読み取りの初期値を設定します。	OFF ON	2-16
読み取りサイズ	読み取りサイズの初期値を設定します。 よくコピーする原稿サイズを初期値に設定しておくと、設定の手間が省けます。	自動 A3 A4 A4 A5 A5 B4 B5 B5	2-17
連続読み込み	ON に設定すると、別々の原稿を続けて読み込んだあとに、1 つの原稿としてコピーできます。	自動原稿送り装置 OFF、ON 原稿ガラス OFF、ON	2-20
仕分け	ソート機能の初期値を設定します。	ノンソート ソート	2-7

補 足

- __の付いている値が、工場出荷時の設定です。
- 設定方法は、「コピー機能の初期値を設定する」（3-2 ページ）を参照してください。

コピー予約を設定する

コピー予約を ON にすると、コピーの印刷中に次の原稿を読み取ることができます。

1 〈メニュー／機器設定登録〉を押します。

2 ［機器設定］を押します。

3 「初期値設定」を選択し、［確定］を押します。

4 「コピー機能」を選択し、［確定］を押します。

5 「コピー予約」を選択し、［確定］を押します。

6 「ON」を選択し、［確定］を押します。

「OFF」を選択すると、コピー予約の設定が OFF になります。

優先応用機能を変更する

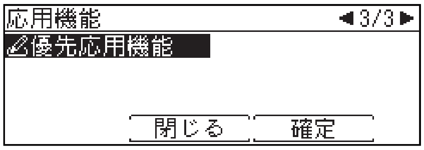
コピーモードの応用機能を待機画面に 3 つまで表示できます。よく使う機能を、待機画面から使えるように設定できます。

補 足

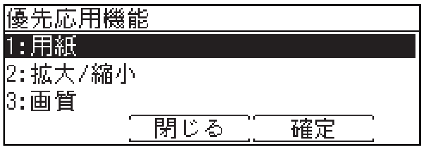
〈メニュー／機器設定登録〉からも各モードの優先応用機能を変更することができます。詳細は、『機器設定・管理編』第 1 章の「優先応用機能を変更する」を参照してください。

1 〈応用機能〉を押します。

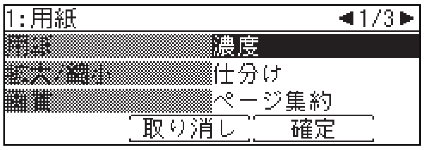
2 「優先応用機能」を選択し、[確定] を押します。



3 変更したい優先応用機能を選択し、[確定] を押します。



4 優先応用機能として表示したい機能を選択し、[確定] を押します。



続けて操作する場合は、手順 3 から操作を繰り返します。

その他コピーに関する設定

コピーモードに関する設定には、以下のような項目があります。

機能	機能説明
部門管理	この機能を使用すると、部門ごとのコピーやファクス送信の使用量を確認できます。 詳細は、『機器設定・管理編』第２章の「部門ごとの使用状況を管理する」を参照してください。
ジョブメモリー	よく使うコピー設定をジョブメモリーに登録し、簡単に呼び出して使用することができます。 詳細は、『機器設定･管理編』第１章の「ジョブメモリーを使用する」を参照してください。
コピー禁止	コピー機能を使用できないように設定できます。 詳細は、『機器設定・管理編』第２章の「モード禁止設定をする」を参照してください。
画面自動リセット時間	コピー画面を待機画面に戻すまでの時間を設定できます。 詳細は、『機器設定・管理編』第１章の「初期値を設定する」の「初期値設定一覧」を参照してください。

KONICA MINOLTA

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

2012.04

DC2-92120-60